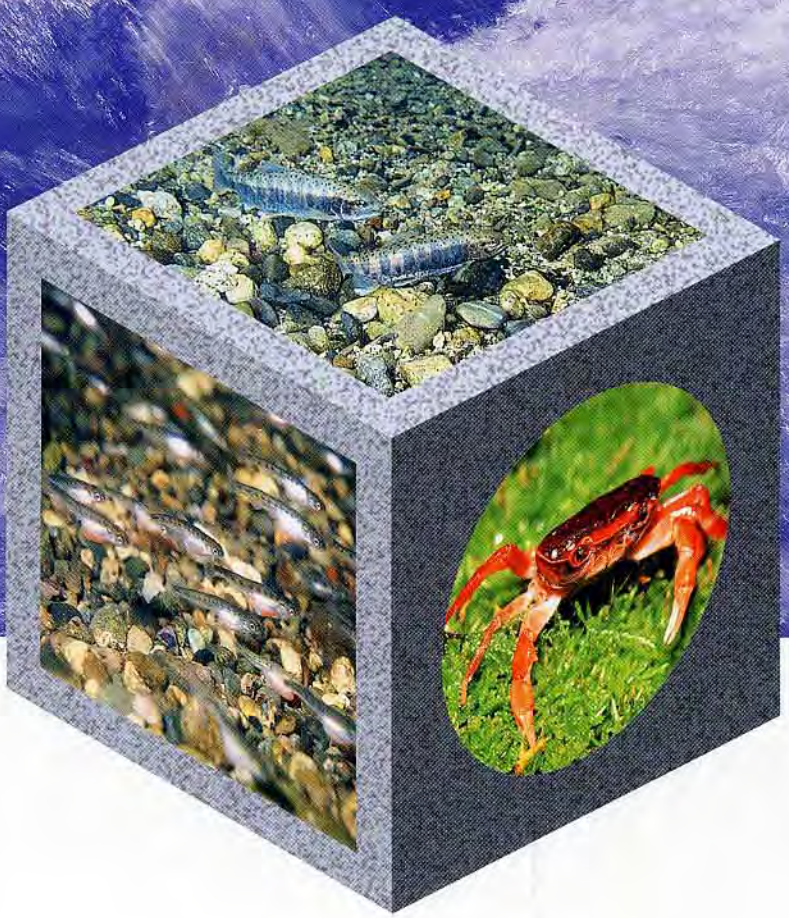
銀鱗

GINRIN



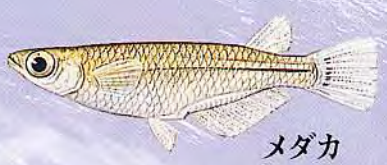
共和コンクリート工業株式会社

川辺の生物たち・・・
この小さな生命を守ってあげたい。

コイ

ウグイ

ヤマメ


メダカ

ドジョウ

スジエビ

特長
- 棲息する魚介類が活動しやすく、自由に出入りすることができます。
- 水流が減勢され、過流となって回動し、溶存酸素の増加をもたらします。
- 適度の陰影を構成し、水草や藻類の育成によい環境を作ります。

魚巣ブロック「銀鱗」は増水時にも空洞部に緩やかな流れを持つため魚達にとって格好の避難場所となります。
このため、小さな魚達にも自然河川と同様に河岸にとどまることができ生態系に対する大きな変化を防ぎます。

「銀鱗」は次のような要件にも効果を発揮できるよう工夫されています。
- 護岸としての強度を十分に備えている。
- 魚介類が集まり、生息できる。
- 餌が常時供給される。
- 魚介類などが産卵増殖できる。
- 魚介類などが活動しやすく、外敵から保護される。

キンブナ

カワニナ

アユ

オイカワ

サワガニ

トンボ

目 次

特長 1
規格諸元 2
Ⅰ型 3~5
●規格寸法図……3
●配筋図……4
●施工図・数量算出……5
Ⅱ型 6~8
●規格寸法図……6
●配筋図……7
●施工図・数量算出……8
Ⅲ型 9~11
●規格寸法図……9
●配筋図……10
●施工図・数量算出……11
施工写真 12

●緩傾斜用

特長・規格諸元 13
Ⅳ型 1.5割 14~16
●規格寸法図……14
●配筋図……15
●施工図・数量算出……16
Ⅳ型 2.0割 17~20
●規格寸法図……17~18
●配筋図……19
●施工図・数量算出……20
施工写真 21~22

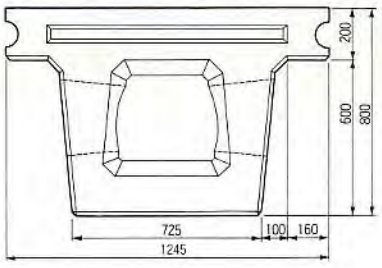
●Ⅰ・Ⅱ型は大型で施工も簡単であり、工期は大幅に短縮できます。
●Ⅲ型は積みブロックと組み合わせて使用することにより、経済的となります。

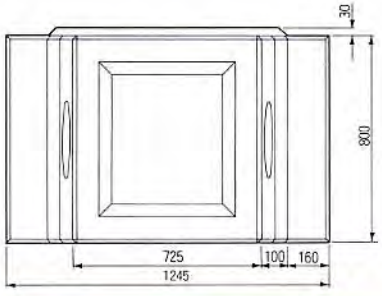
規格諸元

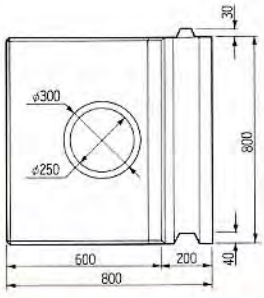
呼び名		使用区分	主要部寸法 (mm)	体積 (m^3)	参考質量 (kg)	使用数 (個/m^2)
Ⅰ型	A形	基本	800×1245×800	0.4045	930	1.0
	B形	側端	800× 620×800	0.1668	383	——
	C形	天端	200×1245×800	0.1896	436	——
Ⅱ型	A形	基本	500× 995×600	0.1788	411	2.0
	B形	側端	500× 495×600	0.0768	176	——
	C形	天端	150× 995×600	0.0856	196	——
Ⅲ型	A形	基本	250×1000×350	0.0512	117	4.0
	B形	側端	250× 500×350	0.0211	48	——
	C形	天端	100×1000×350	0.0333	76	——

■規格寸法図Ⅰ型

A形



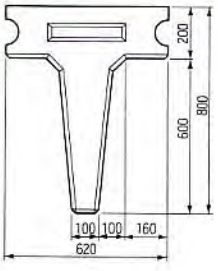


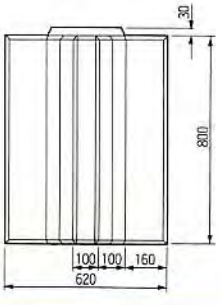


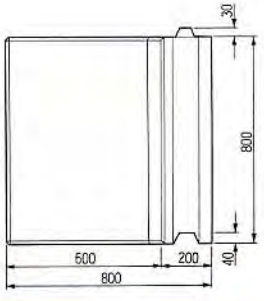
規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
A形	基　本	800×1245×800	0.4045	930	1.0

B形



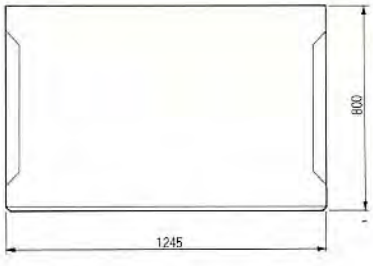


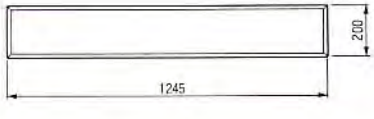


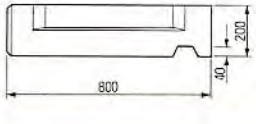
規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
B形	側　端	800×620×800	0.1668	383	―――

C形



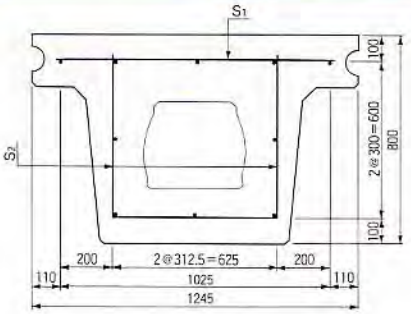


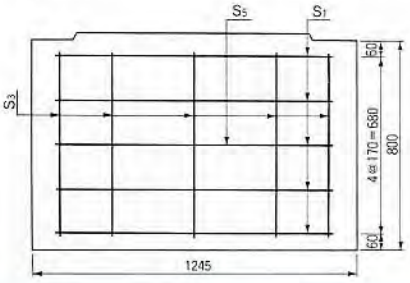


規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
C形	天　端	200×1245×800	0.1896	436	―――

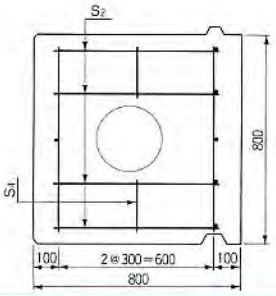
A形



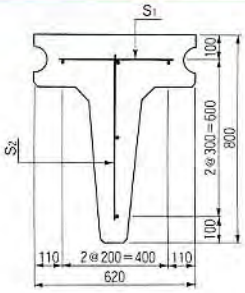


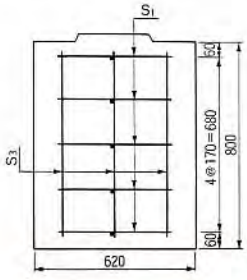
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	φ6	1.045	5	5.225	0.222	1.160	———
S2	φ6	1.845	4	7.380	0.222	1.638	⌊⌋
S3	φ6	0.700	8	5.600	0.222	1.243	———
S4	φ6	0.190	4	0.760	0.222	0.169	-
S5	φ6	0.645	1	0.645	0.222	0.143	———
計						4.353	



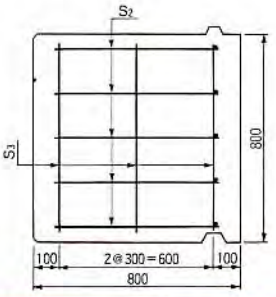
B形



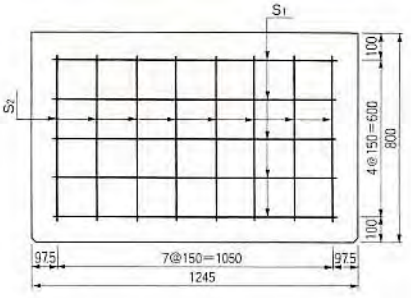


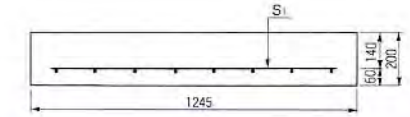
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	φ6	0.420	5	2.100	0.222	0.466	——
S2	φ6	0.620	5	3.100	0.222	0.688	———
S3	φ6	0.700	5	3.500	0.222	0.777	———
計						1.931	



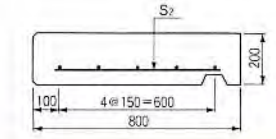
C形





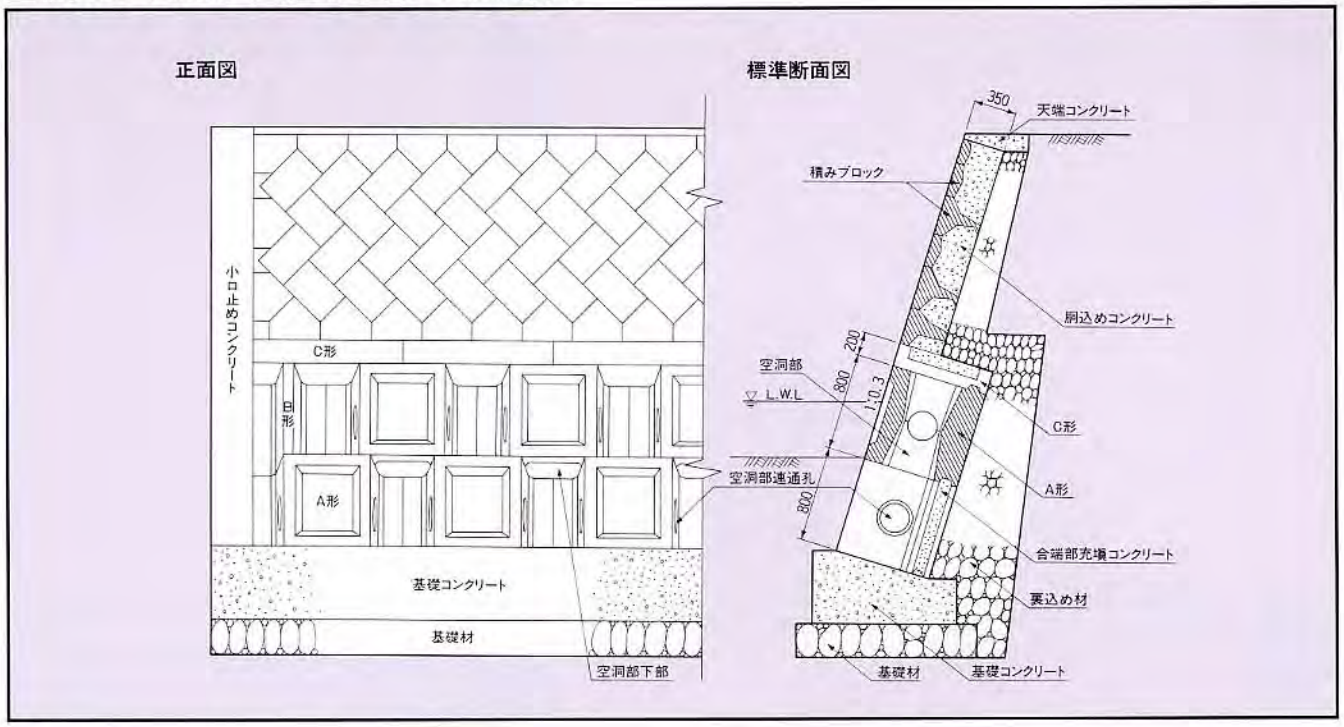
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	φ9	1.070	5	5.350	0.499	2.670	———
S2	φ6	0.620	8	4.960	0.222	1.101	——
計						3.771	



■施工図・数量算出Ⅰ型

■積みブロックと組み合わせた場合



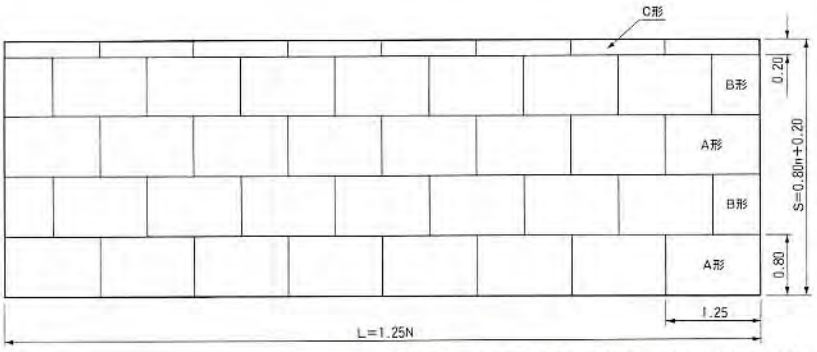
■数量算出式

施工区画に対するブロックおよび充填コンクリートの標準所要量は次式によって求めます。

呼び名	積上段数が奇数の場合	積上段数が偶数の場合
A 形	$N_A=\left(\frac{S-0.20}{0.80}\right)\cdot\left(\frac{L}{1.25}-0.5\right)+0.5$	$N_A=\left(\frac{S-0.20}{0.80}\right)\cdot\left(\frac{L}{1.25}-0.5\right)$
B 形	$N_B=\frac{S-0.20}{0.80}-1$	$N_B=\frac{S-0.20}{0.80}$
C 形	$N_C=\frac{L}{1.25}$	$N_C=\frac{L}{1.25}$
充填コンクリート量	$V_C=0.0070(N_A+N_B)+0.0061N_C$	$V_C=0.0070(N_A+N_B)+0.0061N_C$

N_A:A形のブロック数(個)
N_B:B形のブロック数(個)
N_C:C形のブロック数(個)
V_C:充填コンクリート量(m^3)
S :施工法長(m)
L :施工延長(m)
N :延長方向の施工列数
n :法長方向の施工段数

0.20:C形のブロック高さ(m)
0.80:法長方向の単位施工長(m)
(A形とB形のブロック高さ)
1.25:延長方向の単位施工長(m)
0.5 :A形とB形のブロック支配面積比率

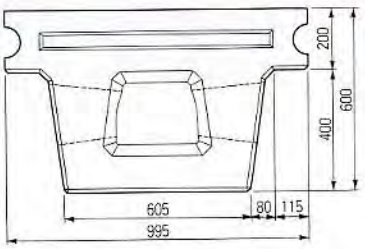


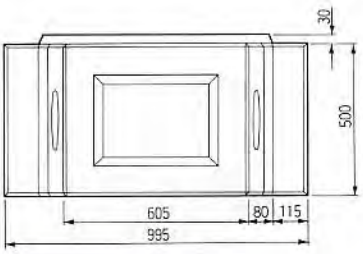
注)施工区画は矩形を標準とし、曲線部の場合は別途算出します。

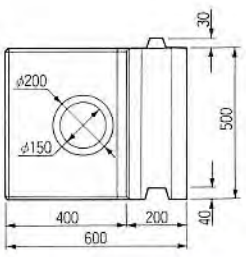
■数量算出例

区分		単位	施工延長20.00mの場合					
積上段数		段	1	2	3	4	5	6
施工法長		m	1.00	1.80	2.60	3.40	4.20	5.00
施工面積		m^2	20.00	36.00	52.00	68.00	84.00	100.00
ブロック	A 形	個	16	31	47	62	78	93
	B 形	個	0	2	2	4	4	6
	C 形	個	16	16	16	16	16	16
充填コンクリート量		m^3	0.21	0.33	0.44	0.56	0.67	0.79

A形



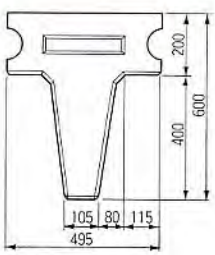


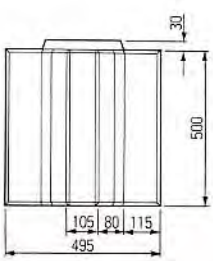


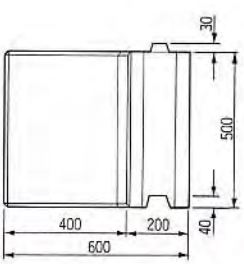
規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
A形	基　本	500×995×600	0.1788	411	2.0

B形



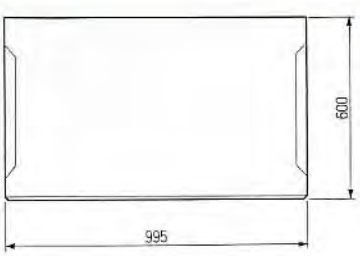


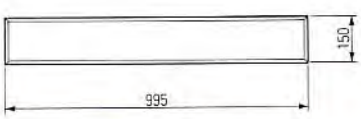


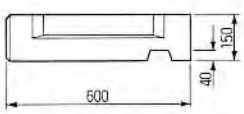
規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
B形	側　端	500×495×600	0.0768	176	———

C形





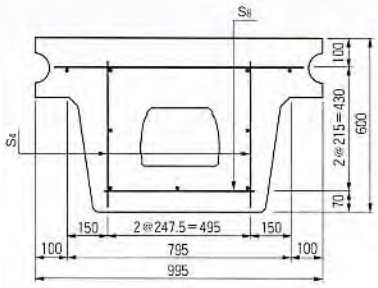


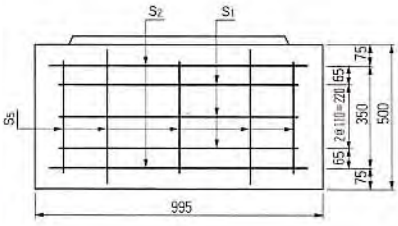
規格諸元

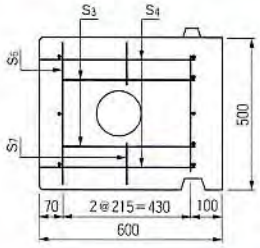
呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
C形	天　端	150×995×600	0.0856	196	———

■配筋図Ⅱ型

A形



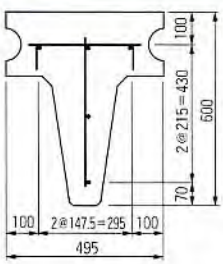


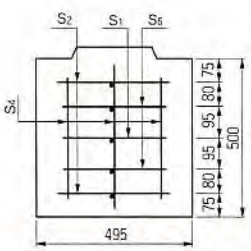


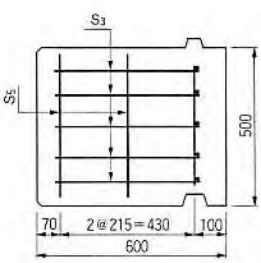
鉄筋表

記号	鉄筋径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	φ4	0.815	3	2.445	0.100	0.246	———
S2	φ4	0.855	2	1.710	0.100	0.171	———
S3	φ4	1.375	2	2.750	0.100	0.275	⌊⌋
S4	φ4	0.490	4	1.960	0.100	0.196	——
S5	φ4	0.370	6	2.220	0.100	0.222	——
S6	φ4	0.460	2	0.920	0.100	0.092	——
S7	φ4	0.130	4	0.520	0.100	0.052	–
S8	φ4	0.515	3	1.545	0.100	0.152	——
計						1.406	

B形



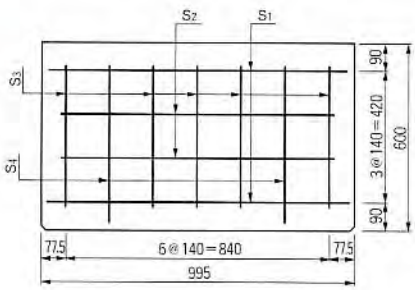


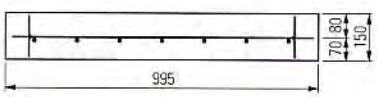


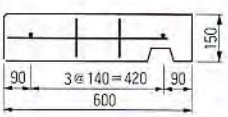
鉄筋表

記号	鉄筋径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	φ4	0.319	1	0.319	0.100	0.032	——
S2	φ4	0.355	2	0.710	0.100	0.071	——
S3	φ4	0.454	5	2.270	0.100	0.227	——
S4	φ4	0.374	3	1.122	0.100	0.112	——
S5	φ4	0.460	2	0.920	0.100	0.092	——
S6	φ4	0.460	2	0.920	0.100	0.092	⌐⌐
計						0.626	

C形



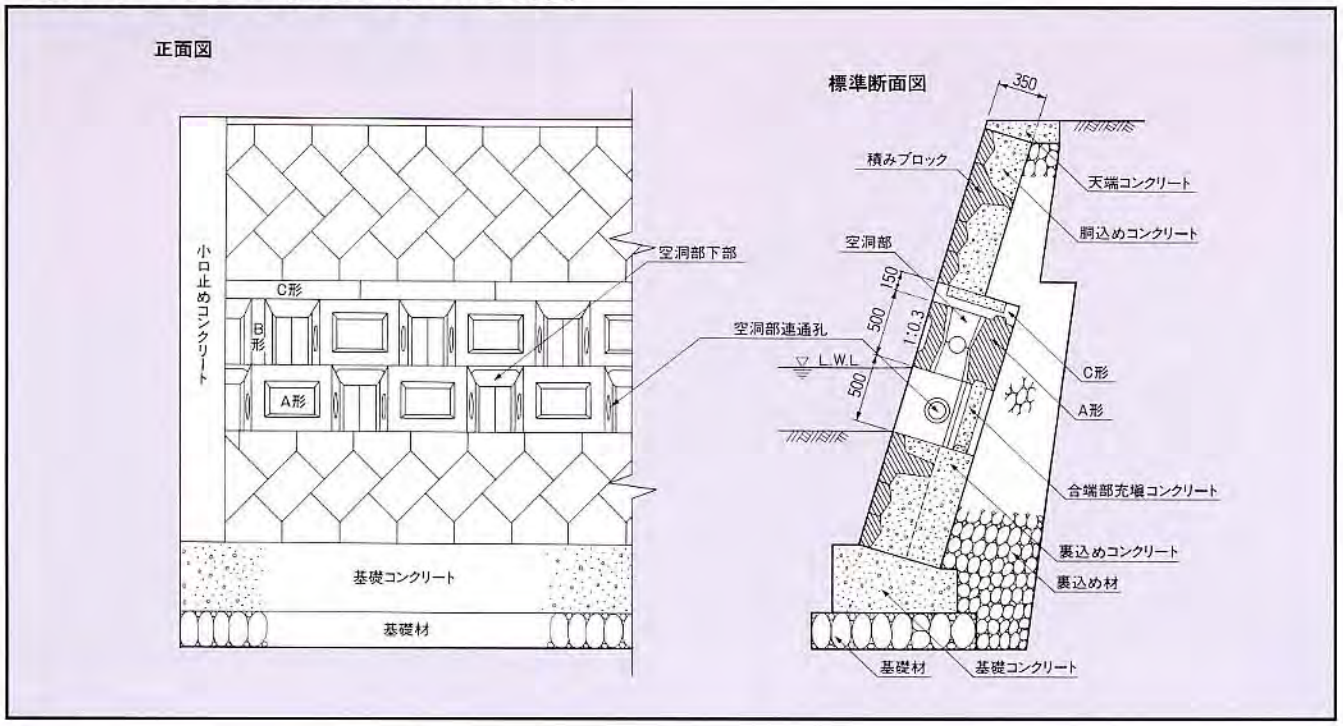




鉄筋表

記号	鉄筋径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	φ9	0.970	2	1.940	0.499	0.968	———
S2	φ9	0.975	2	1.950	0.499	0.973	⌐⌐
S3	φ4	0.450	5	2.250	0.100	0.225	——
S4	φ4	0.505	2	1.010	0.100	0.101	——
計						2.267	

■積みブロックと組み合わせた場合



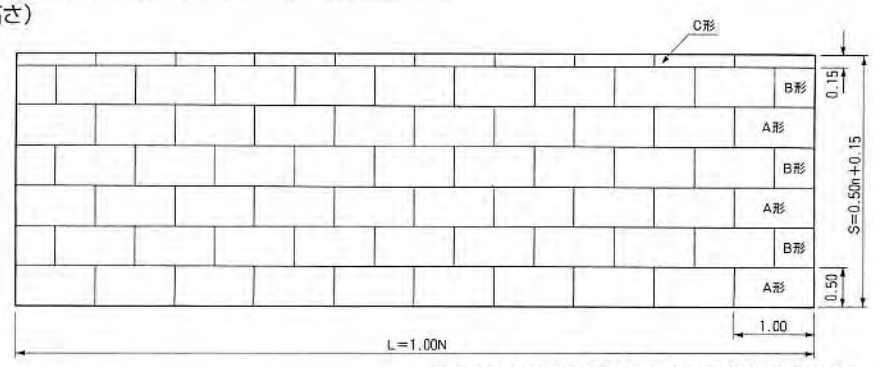
■数量算出式

施工区画に対するブロックおよび充填コンクリートの標準所要量は次式によって求めます。

呼び名	積上段数が奇数の場合	積上段数が偶数の場合
A形	$N_A=\left(\frac{S-0.15}{0.50}\right)\cdot\left(\frac{L}{1.00}-0.5\right)+0.5$	$N_A=\left(\frac{S-0.15}{0.50}\right)\cdot\left(\frac{L}{1.00}-0.5\right)$
B形	$N_B=\frac{S-0.15}{0.50}-1$	$N_B=\frac{S-0.15}{0.50}$
C形	$N_C=\frac{L}{1.00}$	$N_C=\frac{L}{1.00}$
充填コンクリート量	$V_C=0.0042(N_A+N_B)+0.0022N_C$	$V_C=0.0042(N_A+N_B)+0.0022N_C$

N_A:A形のブロック数(個)
N_B:B形のブロック数(個)
N_C:C形のブロック数(個)
V_C:充填コンクリート量(m^3)
S :施工法長(m)
L :施工延長(m)
N :延長方向の施工列数
n :法長方向の施工段数

0.15:C形のブロック高さ(m)　　1.00:延長方向の単位施工長(m)
0.50:法長方向の単位施工長(m)　　0.5 :A形とB形のブロック支配面積比率
(A形とB形のブロック高さ)



注)施工区画は矩形を標準とし,曲線部の場合は別途算出します。

■数量算出例

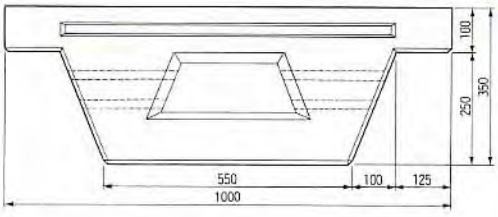
区分		単位	施工延長 20.00m の場合							
積上段数		段	1	2	3	4	5	6	7	8
施工法長		m	0.65	1.15	1.65	2.15	2.65	3.15	3.65	4.15
施工面積		m^2	13.00	23.00	33.00	43.00	53.00	63.00	73.00	83.00
ブロック	A形	個	20	39	59	78	98	117	137	156
	B形	個	0	2	2	4	4	6	6	8
	C形	個	20	20	20	20	20	20	20	20
充填コンクリート量		m^3	0.13	0.22	0.30	0.39	0.48	0.56	0.64	0.73

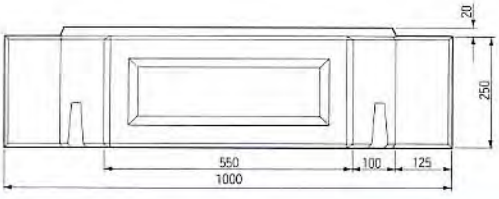
■規格寸法図Ⅲ型

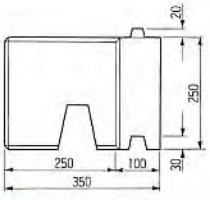
A形

規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
A形	基　本	250×1000×350	0.0512	117	4.0



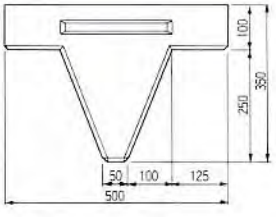


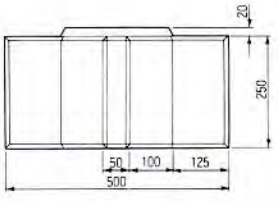


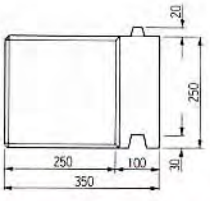
B形

規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
B形	側　端	250×500×350	0.0211	48	―――



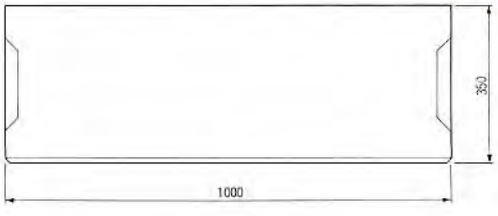


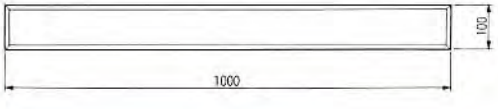


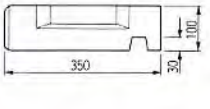
C形

規格諸元

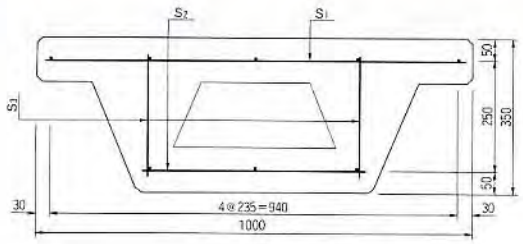
呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
C形	天　端	100×1000×350	0.0333	76	―――

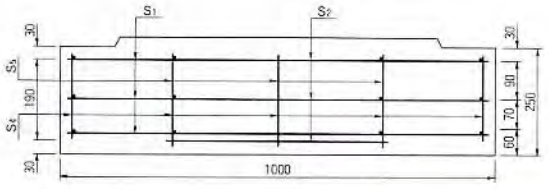


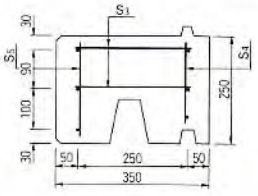




A形



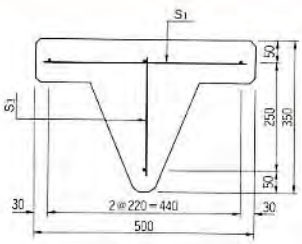


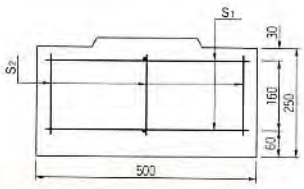


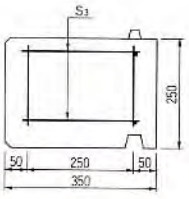
鉄筋表

記号	径(mm)	長さ(m)	本数(本)	総長(m)	単位質量(kg/m)	質量(kg)	形状
S1	φ4	0.960	3	2.880	0.100	0.288	———
S2	φ4	0.510	3	1.530	0.100	0.153	——
S3	φ4	0.270	4	1.080	0.100	0.108	—
S4	φ4	0.180	5	0.900	0.100	0.090	—
S5	φ4	0.210	3	0.630	0.100	0.063	—
計						0.702	

B形



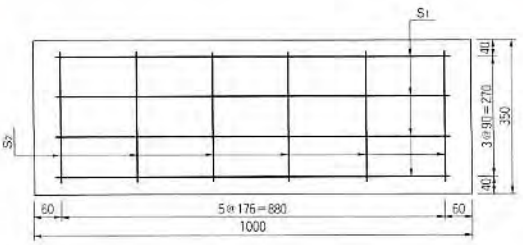


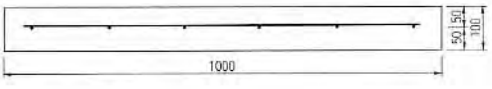


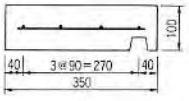
鉄筋表

記号	径(mm)	長さ(m)	本数(本)	総長(m)	単位質量(kg/m)	質量(kg)	形状
S1	φ4	0.460	2	0.920	0.100	0.092	———
S2	φ4	0.180	4	0.720	0.100	0.072	—
S3	φ4	0.270	2	0.540	0.100	0.054	——
計						0.218	

C形





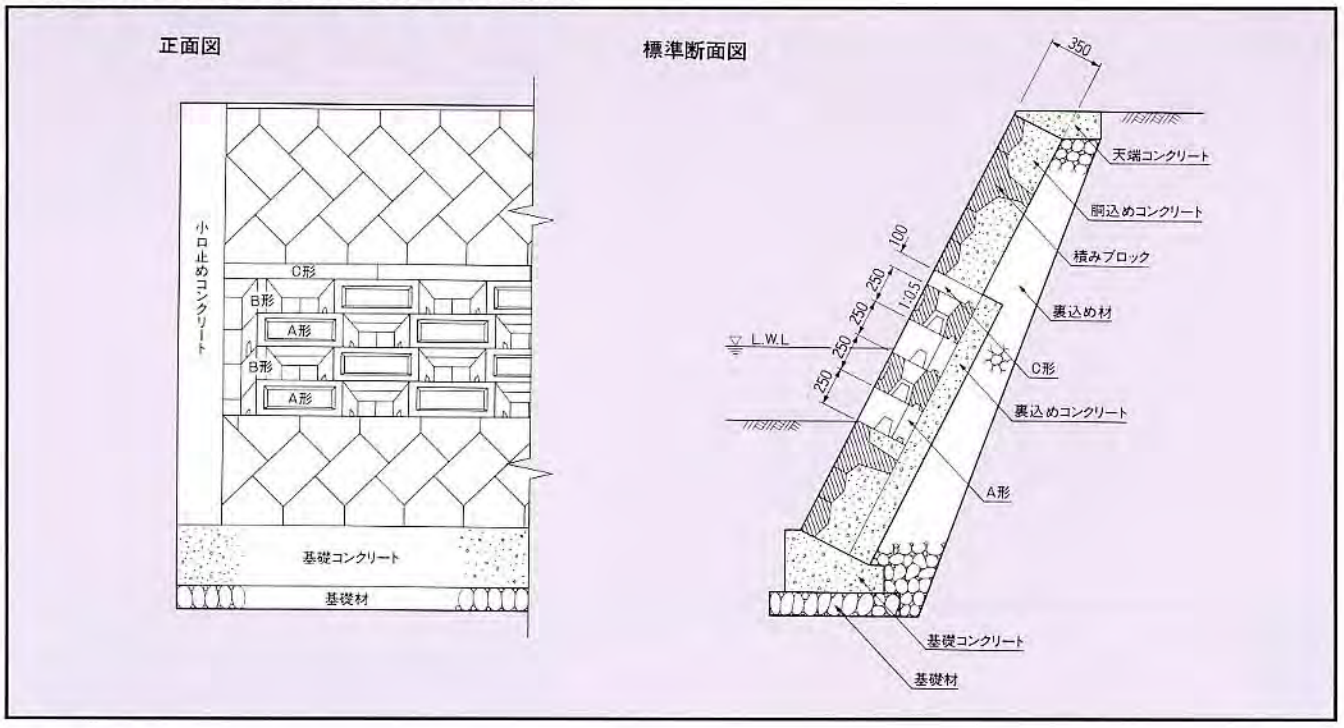


鉄筋表

記号	径(mm)	長さ(m)	本数(本)	総長(m)	単位質量(kg/m)	質量(kg)	形状
S1	φ6	0.900	4	3.600	0.222	0.799	———
S2	φ6	0.290	6	1.740	0.222	0.386	—
計						1.185	

■施工図・数量算出Ⅲ型

■積みブロックと組み合わせた場合



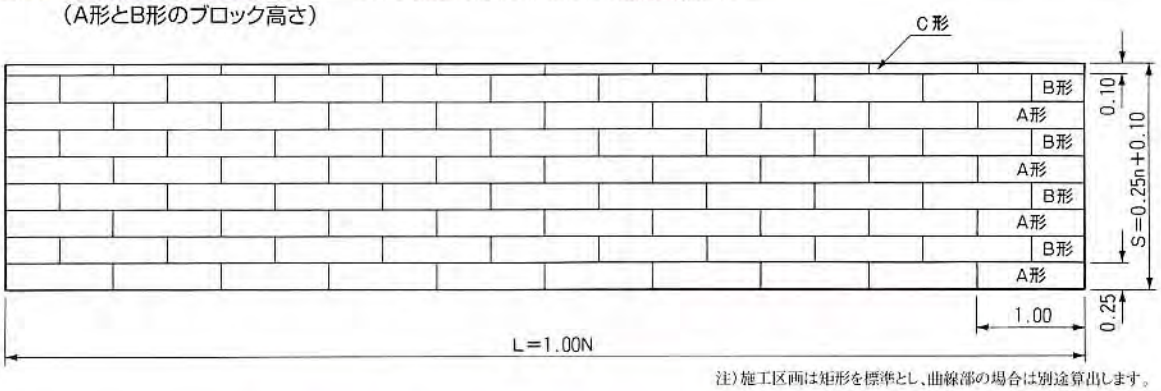
■数量算出式

施工区画に対するブロックおよび充填コンクリートの標準所要量は次式によって求めます。

呼び名	積上段数が奇数の場合	積上段数が偶数の場合
A 形	$N_A=\left(\frac{S-0.10}{0.25}\right)\cdot\left(\frac{L}{1.00}-0.5\right)+0.5$	$N_A=\left(\frac{S-0.10}{0.25}\right)\cdot\left(\frac{L}{1.00}-0.5\right)$
B 形	$N_B=\frac{S-0.1}{0.25}-1$	$N_B=\frac{S-0.1}{0.25}$
C 形	$N_C=\frac{L}{1.00}$	$N_C=\frac{L}{1.00}$
充填コンクリート量	$V_C=0.0005N_C$	$V_C=0.0005N_C$

N_A:A形のブロック数(個)
N_B:B形のブロック数(個)
N_C:C形のブロック数(個)
V_C:充填コンクリート量(m^3)
S :施工法長(m)
L :施工延長(m)
N :延長方向の施工列数
n :法長方向の施工段数

0.10:C形のブロック高さ(m)　　1.00:延長方向の単位施工長(m)
0.25:法長方向の単位施工長(m)　　0.5 :A形とB形のブロック支配面積比率
(A形とB形のブロック高さ)



注)施工区画は矩形を標準とし、曲線部の場合は別途算出します。

■数量算出例

区分		単位	施工延長 20.00m の場合											
積上段数		段	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
施工法長		m	0.35	0.60	0.85	1.10	1.35	1.60	1.85	2.10	2.35	2.60	2.85	3.10
施工面積		m^2	7.00	12.00	17.00	22.00	27.00	32.00	37.00	42.00	47.00	52.00	57.00	62.00
ブロック	A 形	個	20	39	59	78	98	117	137	156	176	195	215	234
	B 形	個	0	2	2	4	4	6	6	8	8	10	10	12
	C 形	個	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
充填コンクリート量		m^3	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01

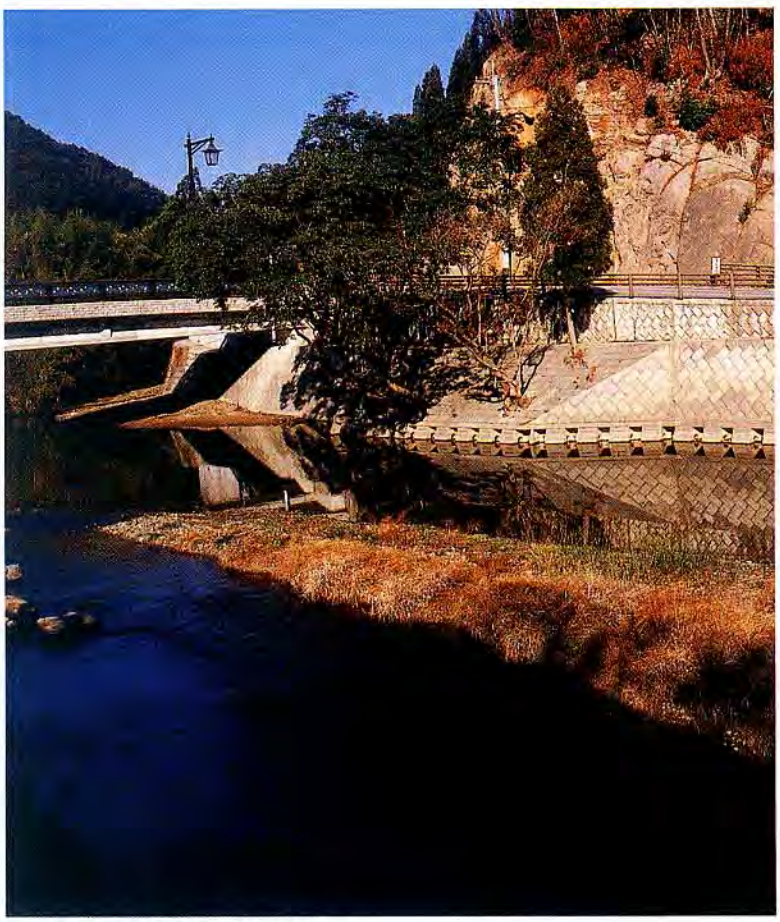
北海道　石川都市河川改修工事

愛媛県　僧都海浜環境整備工事

神奈川県　独川改修工事

愛知県　地蔵川改修工事

大阪府　安威川改修工事



鹿児島県　溝之口川河岸防災工事

■銀鱗Ⅳ型（緩傾斜用）

特　　長

●棲息する魚介類が活動しやすく、自由に出入りすることができます。
●水流が減勢され、過流となって回動し、溶存酸素の増加をもたらします。
●適度の陰影を構成し、水草や藻類の成育によい環境をつくります。
●ブロックは1m²/個に大型化され、工期は大幅に短縮されます。
●ブロックは護岸の法勾配に合わせて、選択することができます。

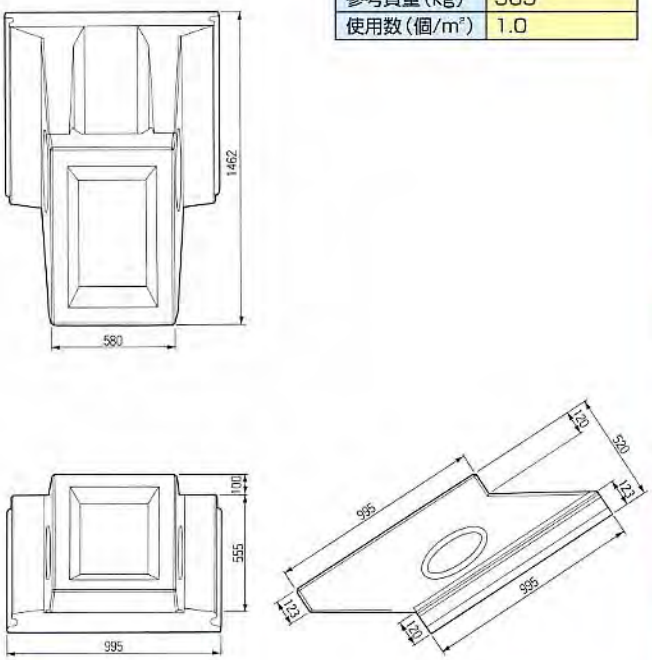
■規格諸元

呼び名			使用区分	主要部寸法 (mm)	体積 (m³)	参考質量 (kg)	使用数 (個/m²)
Ⅳ型	1.5割	A形	基本	995×995×520	0.2476	569	1.0
		B形	側端	995×495×520	0.1064	244	——
		C形	天端	995×995×520	0.2383	548	——
		D形	天側端	995×495×520	0.1033	237	——
	2.0割	A形	基本	995×995×520	0.2473	568	1.0
		B形	側端	995×495×520	0.1060	243	——
		C-1形	天端	995×995×520	0.1577	362	——
		C-2形	笠石	200×995×520	0.1075	247	——
		D形	天側端	1195×495×520	0.1137	261	——

A形

規格諸元

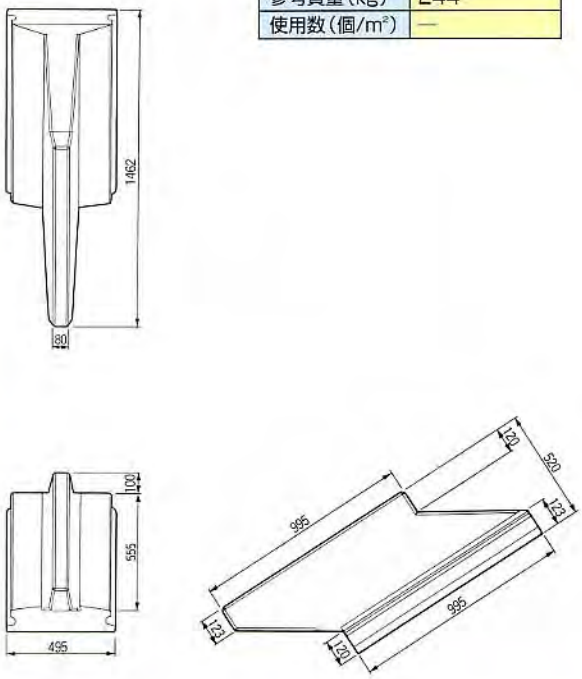
呼び名	A形
使用区分	基本
主要部寸法(mm)	995×995×520
体積(m^3)	0.2476
参考質量(kg)	569
使用数(個/m^2)	1.0



B形

規格諸元

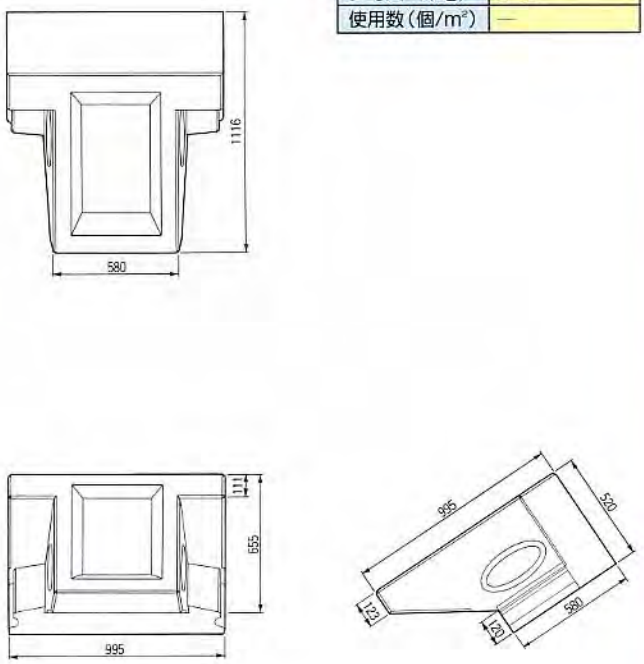
呼び名	B形
使用区分	側端
主要部寸法(mm)	995×495×520
体積(m^3)	0.1064
参考質量(kg)	244
使用数(個/m^2)	—



C形

規格諸元

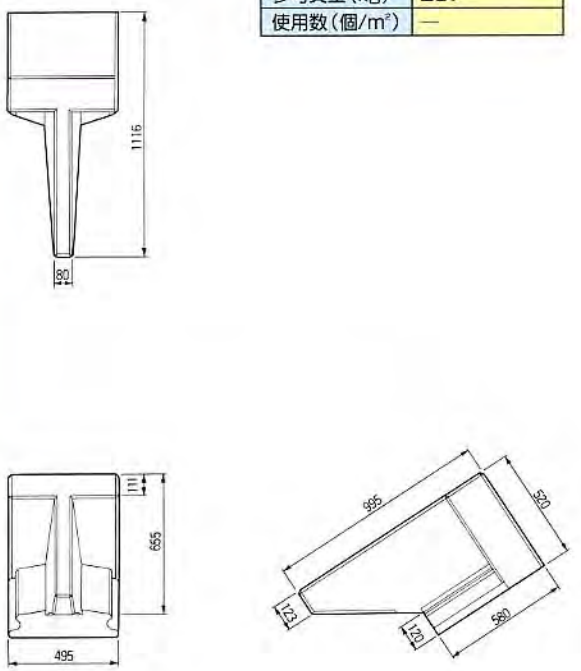
呼び名	C形
使用区分	天端
主要部寸法(mm)	995×995×520
体積(m^3)	0.2383
参考質量(kg)	548
使用数(個/m^2)	—



D形

規格諸元

呼び名	D形
使用区分	天側端
主要部寸法(mm)	995×495×520
体積(m^3)	0.1033
参考質量(kg)	237
使用数(個/m^2)	—



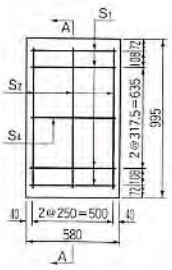
■配筋図Ⅳ型 1.5割

A形

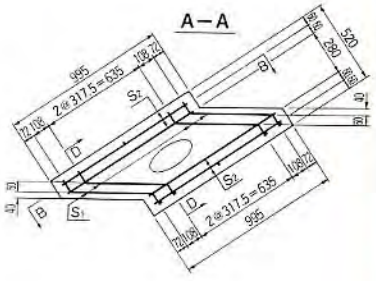
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	1.770	4	7.080	0.560	3.965	
S2	φ6	0.875	10	8.750	0.222	1.942	
S3	φ6	0.855	5	4.275	0.222	0.949	
S4	φ6	0.520	1	0.520	0.222	0.115	
計						6.971	

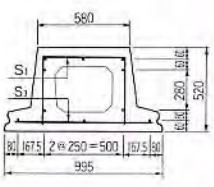
B−B



A−A



D−D

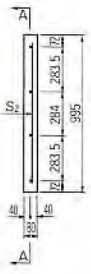


B形

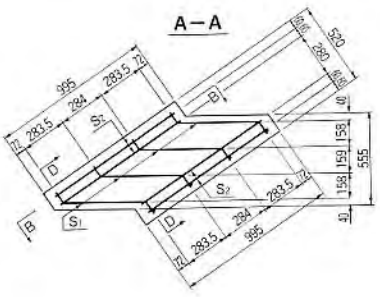
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	0.645	4	2.580	0.560	1.445	
S2	φ6	0.875	5	4.375	0.222	0.971	
S3	φ6	0.355	4	1.420	0.222	0.315	
計						2.731	

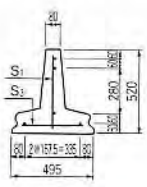
B−B



A−A



D−D

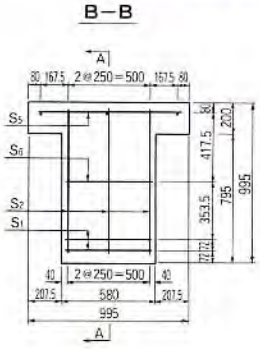


C形

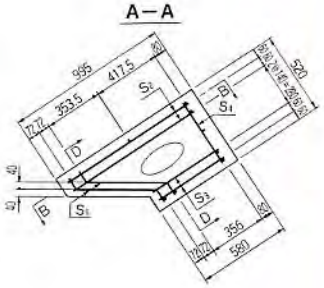
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	1.770	2	3.540	0.560	1.982	
S2	φ6	0.865	5	4.325	0.222	0.960	
S3	φ6	0.450	5	2.250	0.222	0.500	
S4	φ6	0.420	3	1.260	0.222	0.280	
S5	φ6	0.855	7	5.985	0.222	1.329	
S6	φ6	0.520	1	0.520	0.222	0.115	
計						5.166	

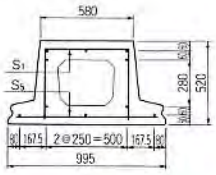
B−B



A−A



D−D

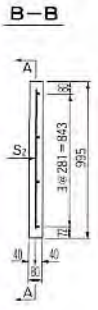


D形

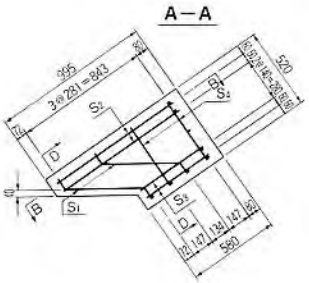
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	0.645	2	1.290	0.560	0.722	
S2	φ6	0.865	2	1.730	0.222	0.384	
S3	φ6	0.450	3	1.350	0.222	0.300	
S4	φ6	0.420	4	1.680	0.222	0.373	
S5	φ6	0.355	8	2.840	0.222	0.630	
計						2.409	

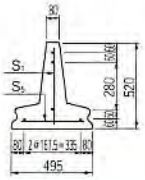
B−B



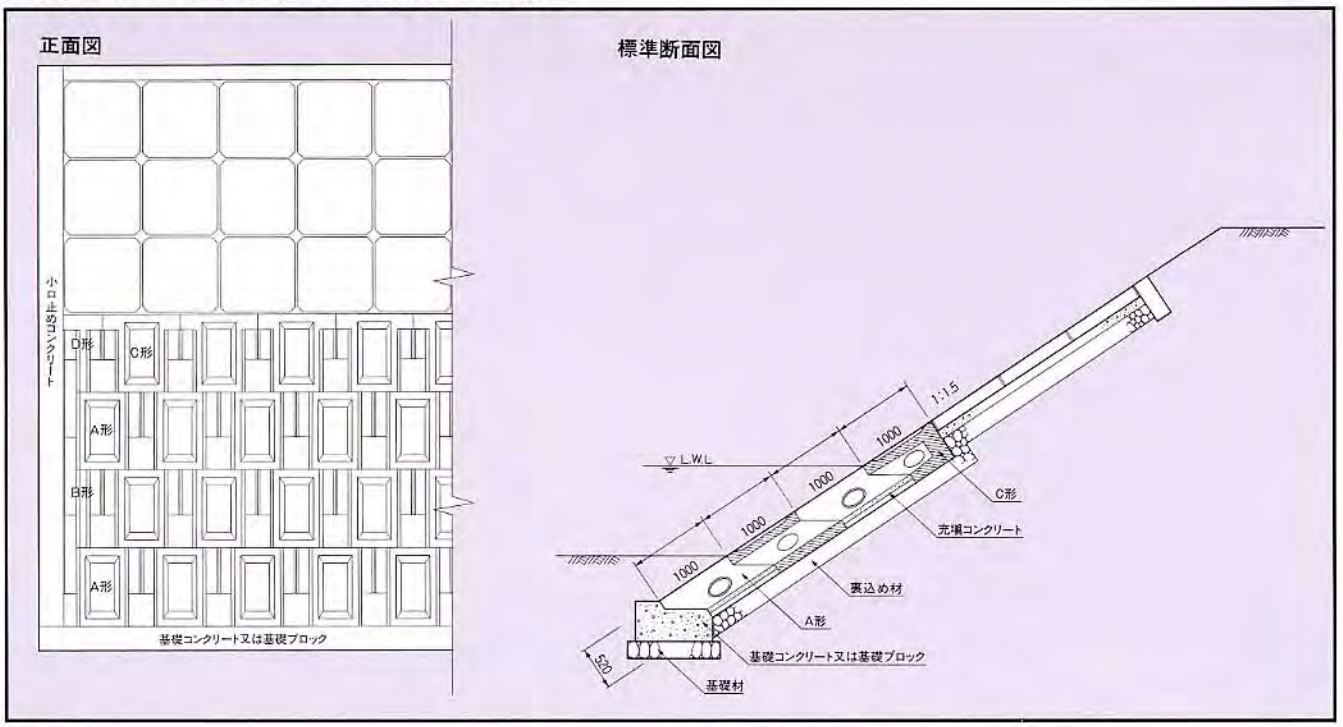
A−A



D−D



■積みブロックと組み合わせた場合



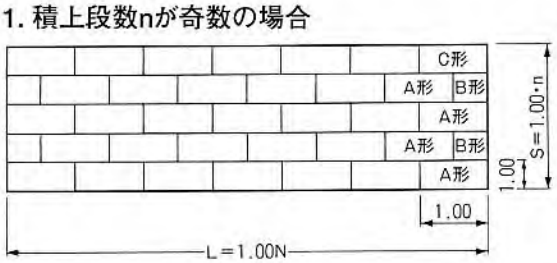
■数量算出式

施工区画に対するブロックおよび充填コンクリートの標準所要量は次式によって求めます。

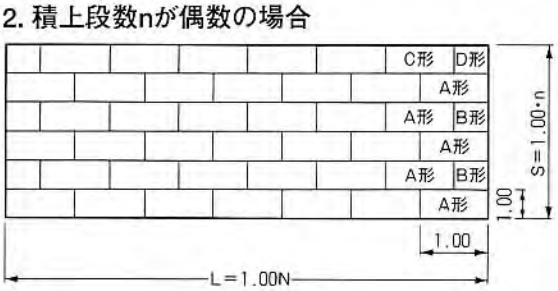
呼び名	積上段数が奇数の場合	積上段数が偶数の場合
A 形	$N_A=(L-0.5)\cdot(S-1)$	$N_A=L\cdot S-L-0.5S+1$
B 形	$N_B=S-1$	$N_B=S-2$
C 形	$N_C=L$	$N_C=L-1$
D 形	———	$N_D=2$
充填コンクリート量	$V_C=0.0059N\cdot n-0.0037N-0.0030n+0.0007$	$V_C=0.0059N\cdot n-0.0037N-0.0030n+0.0037$

N_A:A形のブロック数(個)
N_B:B形のブロック数(個)
N_C:C形のブロック数(個)
N_D:D形のブロック数(個)
V_C:充填コンクリート量(m^3)
S :施工法長(m)
L :施工延長(m)
N :延長方向の施工列数
n :法長方向の施工段数

1. 積上段数nが奇数の場合



2. 積上段数nが偶数の場合



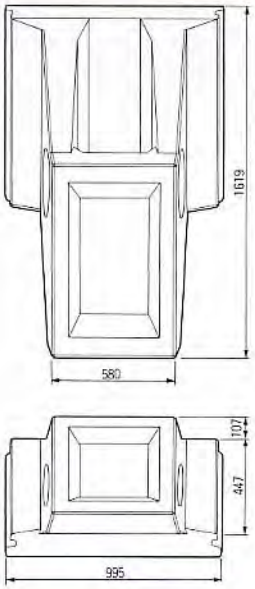
注) 施工区画は矩形を標準とし、曲線部の場合は別途算出します。

■数量算出例

区分		単位	施工延長 20.00m							
積上段数		段	1	2	3	4	5	6	7	8
施工法長		m	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00	8.00
施工面積		m^2	20	40	60	80	100	120	140	160
ブロック	A 形	個	0	20	39	59	78	98	117	137
	B 形	個	0	0	2	2	4	4	6	6
	C 形	個	20	19	20	19	20	19	20	19
	D 形	個	0	2	0	2	0	2	0	2
充填コンクリート量		m^3	0.042	0.160	0.272	0.390	0.502	0.620	0.732	0.850

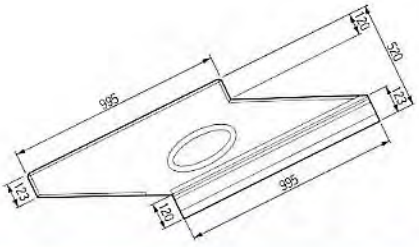
■規格寸法図Ⅳ型 2.0割

A形

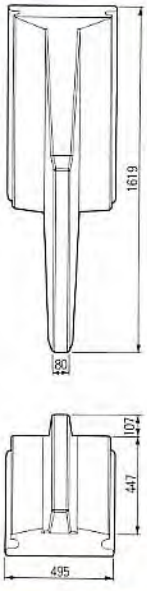


規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
A形	基　本	995×995×520	0.2473	568	1.0

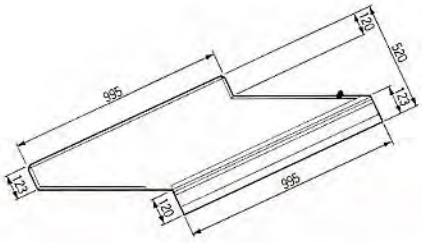


B形

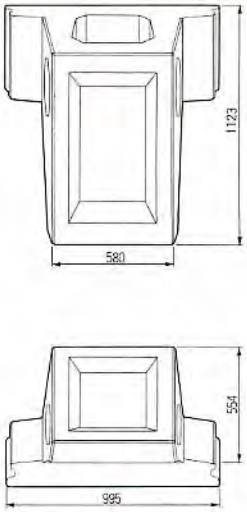


規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
B形	側　端	995×495×520	0.1060	243	―――

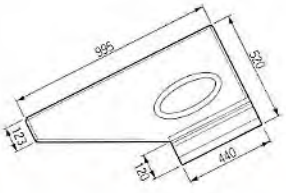


C-1形



規格諸元

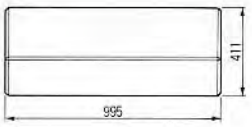
呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
C-1形	天　端	995×995×520	0.1577	362	―――

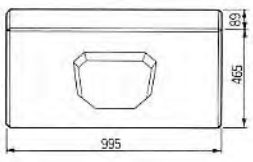


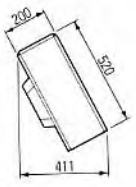
C-2形

規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
C-2形	笠　石	200×995×520	0.1075	247	―――



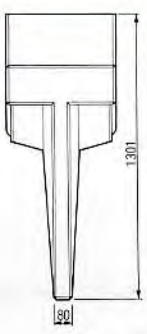


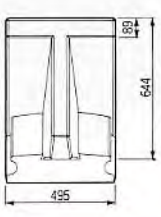


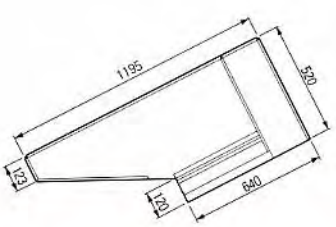
D形

規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
D形	天側端	1195×495×520	0.1137	261	―――







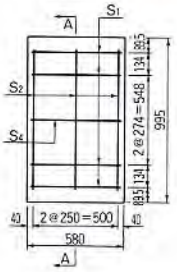
■配筋図Ⅳ型 2.0割

A形

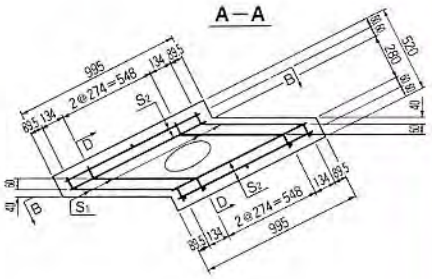
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	2.015	4	8.060	0.560	4.514	⊏
S2	φ6	0.840	10	8.400	0.222	1.865	—
S3	φ6	0.855	5	4.275	0.222	0.949	—
S4	φ6	0.520	1	0.520	0.222	0.115	—
計						7.443	

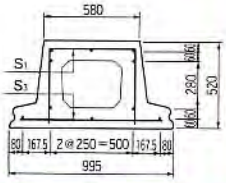
B−B



A−A



D−D

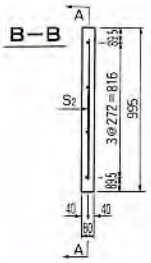


B形

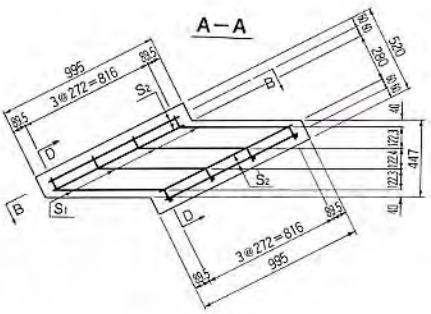
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	0.770	4	3.080	0.560	1.725	∼
S2	φ6	0.840	5	4.200	0.222	0.932	—
S3	φ6	0.355	4	1.420	0.222	0.315	—
計						2.972	

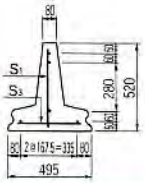
B−B



A−A



D−D

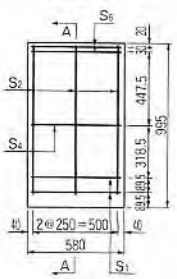


C-1形

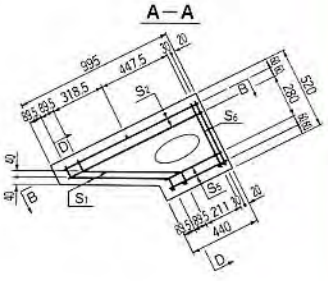
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	2.015	2	4.030	0.560	2.257	⊏
S2	φ6	0.910	5	4.550	0.222	1.010	—
S3	φ6	0.855	4	3.420	0.222	0.759	—
S4	φ6	0.520	1	0.520	0.222	0.115	—
S5	φ6	0.350	5	1.750	0.222	0.388	—
S6	D10	1.320	2	2.640	0.560	1.478	⊏
計						6.007	

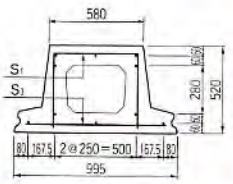
B−B



A−A



D−D

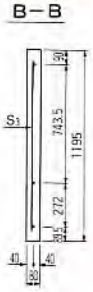


D形

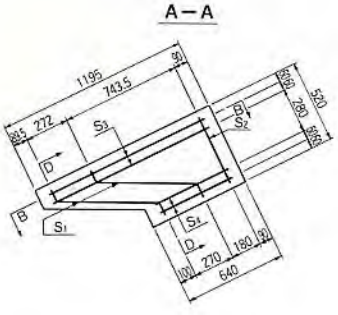
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	0.770	2	1.540	0.560	0.862	∼
S2	D10	0.420	3	1.260	0.560	0.706	—
S3	φ6	1.040	2	2.080	0.222	0.462	—
S4	φ6	0.470	3	1.410	0.222	0.313	—
S5	φ6	0.355	5	1.775	0.222	0.394	—
計						2.737	

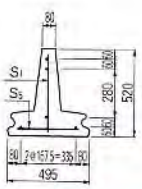
B−B



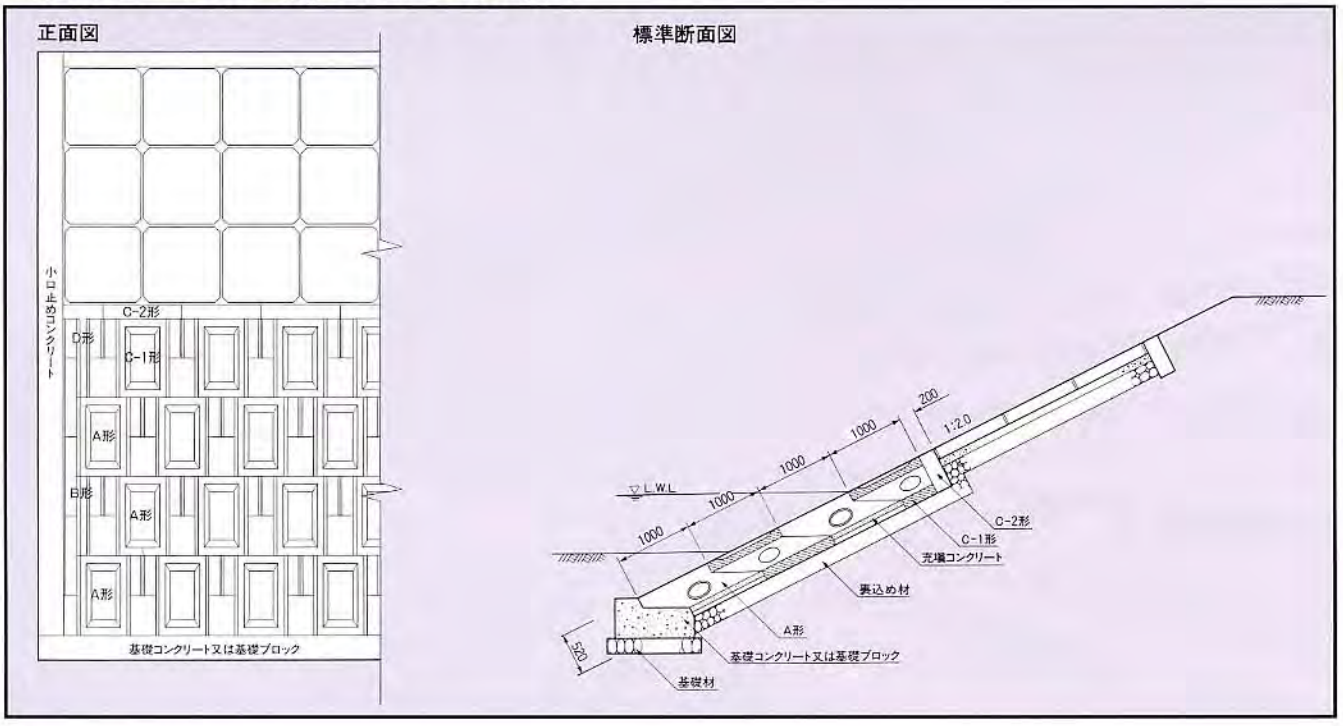
A−A



D−D



■積みブロックと組み合わせた場合



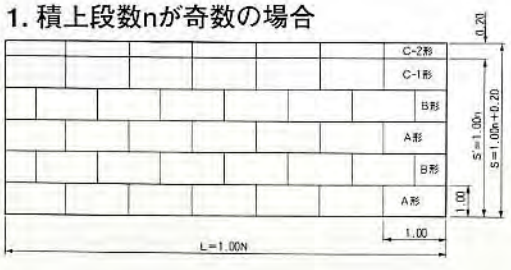
■数量算出式

施工区画に対するブロックおよび充填コンクリートの標準所要量は次式によって求めます。

呼び名	積上段数が奇数の場合	積上段数が偶数の場合
A 形	$N_A=(L-0.5)\cdot(S'-1)$	$N_A=L\cdot S'-L-0.5S'+1$
B 形	$N_B=S'-1$	$N_B=S'-2$
C-1形	$N_{C1}=L$	$N_{C1}=L-1$
C-2形	$N_{C2}=L$	$N_{C2}=L-1$
D 形	――	$N_D=2$
充填コンクリート量	$V_C=0.0059N\cdot n-0.0033N-0.0030n+0.0004$	$V_C=0.0059N\cdot n-0.0033N-0.0030n+0.0033$

N_A :A形のブロック数(個)
N_B :B形のブロック数(個)
N_{C1} :C-1形のブロック数(個)
N_{C2} :C-2形のブロック数(個)
N_D :D形のブロック数(個)
V_C :充填コンクリート量(m^3)
S :施工法長(m)
S' :施工法長−0.20(m)
L :施工延長(m)
N :延長方向の施工列数
n :法長方向の施工段数

1. 積上段数nが奇数の場合



2. 積上段数nが偶数の場合

注1)C-2形は計算上段数(n)には含んでいません。　注2)施工区画は短形を標準とし、曲線部の場合は別途算出します。

■数量算出例

区分		単位	施工延長20.00mの場合							
積上段数		段	1	2	3	4	5	6	7	8
施工法長		m	1.20	2.20	3.20	4.20	5.20	6.20	7.20	8.20
施工面積		m^2	24	44	64	84	104	124	144	164
ブロック	A 形	個	0	20	39	59	78	98	117	137
	B 形	個	0	0	2	2	4	4	6	6
	C-1形	個	20	19	20	19	20	19	20	19
	C-2形	個	20	19	20	19	20	19	20	19
	D 形	個	0	2	0	2	0	2	0	2
充填コンクリート量		m^3	0.050	0.168	0.280	0.398	0.510	0.628	0.740	0.858

■施工写真

北海道　新川琴似発寒川改修工事

岐阜県　公共小規模河川改修工事

大阪府　安威川改修工事

宮城県　迫川河川局部工事

神奈川県　鈴川改修工事